

第38回あぶくま洞大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会における

大会当日の熱中症対策について

(第41回中畑清旗争奪児童ソフトボール大会(福島県)における熱中症対策を一部準用)

1. 試合実施方法

あぶくま洞大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会の各会場で「試合開始前」に暑さ指数を測定し、暑さ指数 33°C 以上となった場合は試合を開始しない。

2. 暑さ指数(WBGT)の測定方法及びその方法

【試合開始前】

(1) 滝根会場についてはAコート、船引会場についてはEコートにて第1試合開始5分前にホームベース上(高さ1m程度)で球場主任(1名)、会場審判(1名)及び両チームの代表指導者(各1名)が数値を確認する。
なお、2日目は各コートにて1日目同様に数値を確認する。

(2) (1)で、暑さ指数 33°C 未満の場合、試合を開始する。

(3) (1)で、暑さ指数 33°C 以上の場合、10分毎に再測定を行う。
(試合開始予定時間の30分経過まで)

(4) (3)の再測定については、球場主任(1名)が測定し、暑さ指数 33°C 未満であった場合、球場主任(1名)、会場審判(1名)及び両チームの代表指導者(各1名)の4名で数値を確認した上で、試合を開始し、暑さ指数 33°C 以上の場合、会場審判、両チームの代表指導者が合意の上、抽選で勝敗を決めることができる。

(5) 第2試合目以降の試合においては、チームオーダー表提出時に、各コート(バックネット裏)で球場主任(1名)、会場審判(1名)、両チームの代表指導者(各1名)の4名で数値を確認する。

(6) 気象庁が発表している天気予報において、気温が上がる事が予想される場合、両チームの代表指導者が合意の上、抽選で勝敗を決めることができる。

2. 「熱中症特別警戒アラート」が発表された際の対応

試合日前日に「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合は、翌日に予定している試合を中止する。

※「熱中症警戒アラート」が発表された際は、試合当日暑さ指数を測定し、実施の有無について判断する。

3. 熱中症対策に伴う大会運営の変更

①試合時間を「60分」としていましたが、「50分」に変更します。

※試合時間が50分を経過した場合は、新しいイニングには入りません。

②各試合、「2回終了後に3分間のクーリングタイム」を実施します。(それ以降については、審判等の判断により実施する場合があります。) なお、大会要項にて規定している「守備の時間が15分を超えた場合は、ベンチに戻り3分間以内の給水をする事」については、予定通り実施します。

4. 参加チームの皆さまへお願い

・上記及び裏面のとおりに、大会は熱中症対策を講じながらの開催となります。事務局として、緊急時のスポーツドリンクの準備やスポットクーラー（ファンミスト）、待避所として近隣の体育館のすべて開放など、できる限りの対策を講じておりますが、大会に参加されるチームにおかれましても、テントやスポーツドリンク等熱中症対策を十分にご準備いただきますようお願いいたします。

なお、監督やコーチ、保護者の皆様におかれましては、睡眠不足や体調不良等の選手がいないか確認いただくとともに、選手のケアをお願いいたします。

・1日目は2会場（滝根・船引）での開催となりますが、どちらかの会場が暑さ指数33℃以上となった場合は、すべての会場を延期または中止にいたします。

なお、延期になり日程が変更になった場合、2日目も帯同審判員を2名お願いする場合があります。あらかじめご了承ください。

【熱中症特別警戒アラートが発令された場合の大会について】

・特別警戒アラートが発令された場合は、試合を延期または中止にします。

・当日午前5時に発表される熱中症警戒アラートにより判断いたします。

なお、延期及び中止の場合は田村市 HP (<https://www.city.tamura.lg.jp/>) に掲載いたしますのでご確認ください。

・問い合わせ先：あぶくま洞大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会事務局

(担当 宗像 090-7078-0460)

・熱中症警戒アラートが発令された場合は、大会を開催いたしますが、状況により審判、監督と協議しながら試合を進めて参りますので、よろしく願いいたします。

参加される皆様のご理解とご協力をお願いいたします